

# 建コン協・地質協 合同釣り大会(春季)報告

厚生委員会

恒例の両協会合同釣り大会は、6月9日(土)にやや天候不良の中でしたが無事に終了をいたしました。

今回は、大型魚礁での開催となりましたが海上の波が一時は3mと高くうねりの激しい条件となりました。気分の優れなかった人も複数でてしまいました。

参加者は30名でしたが、3艘の船に分乗し釣果を競いました。  
優勝は、東北地質の阿部純也さんで3.5kg、準優勝は国際航業の佐藤典夫幹事が2.6kgでした。  
3位には東北地質の石川澄子さん2.5kgが入賞しました。

全体平均としては、1kg前後で5~6枚の寂しい釣果となりました。

例年のこの時期では、マガレイ・イシガレイの数があがっており期待も高かったのですが、水温が低く釣果は残念な結果となりました。

## 大会成績

優勝	阿部純也	東北地質	3.5kg	B.B	佐藤泰光	セントラルC	0kg
準優勝	佐藤典夫	国際航業	2.6kg	B.M	東川佳弘	セントラルC	0kg
第3位	石川澄子	東北地質	2.5kg	大物賞(カレイ)	海藤吉紀		34cm
第5位	岡田輝夫	日本工営	2.0kg	特別賞	碓井正人(東部計画)		
ラッキー7賞	松川秀敏	東京C	1.85kg		佐々木千城(明治C)		
当日賞(9位)	岩渕啓一	国際航業	1.75kg		長谷 徹(復建技術C)		
第10位	直井賢二	東京C	1.55kg		伊藤義則(住鋳C)		
第15位	田中昭治	日本工営	1.25kg	やまさ丸賞	佐藤嘉隆(国際航業)		
第20位	細川勝治	日本工営	1.00kg		野本淳也(長大)		
第25位	梶原辰登	長大	0.95kg				



次回は秋季10月頃の開催を予定しています。

## 仙台カレイ釣り考

(株)東北地質 石川澄子

本年もカレイ釣りが堪能できる季節になり、太公望達も週末の天気やきもきしているのではないのでしょうか。しかし、一昨年より続いている大型魚礁アカジガレイの不調は今年も続いており、もしかしたらこれが普通の状態になっているのかもしれない。

そこで、釣った魚は余すところなく食するのは勿論ですが、魚には優れた栄養がたくさんあります。

カレイは美肌をつくるビタミンB1やDが豊富です。ビタミンB1は、神経の働きを鎮めストレスを和らげる働きがあり、ビタミンDはカルシウム吸収を助けます。また縁側には肌の若さを保つコラーゲンがたくさん含まれており、ストレスで痛んでいる現代人には丸ごと食べたい魚の一つなのであります。

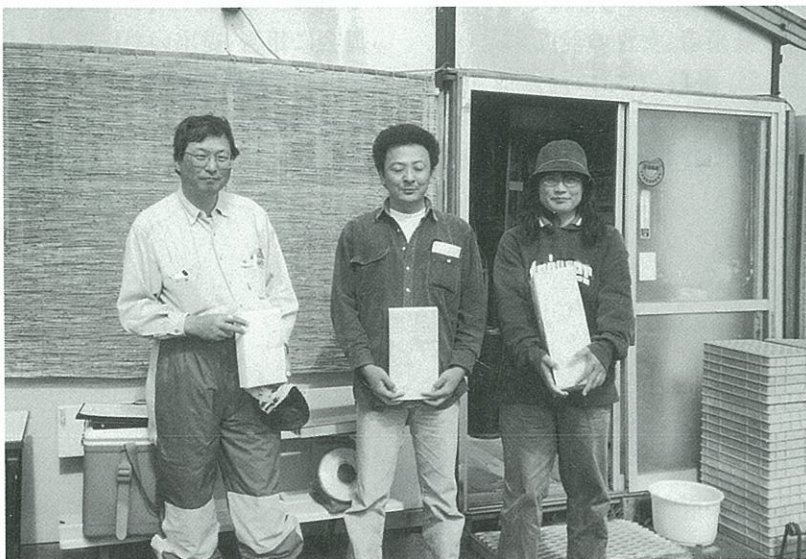
カレイ釣りの外道の一つにあげられるアイナメや今が旬のスズキにはビタミンAとビタミンDが豊富に含まれており、皮膚や粘膜を健康に保ち、尚かつ視覚機能を正常にしてくれます。

また脂がのっている戻り鰹にはDHAやEPA、血合いにはビタミンB12、鉄、タウリンなど健康維持に役立つ栄養素が豊富に含まれています。このDHAは、悪玉コレステロールを減らし善玉コレステロールを増やす働きがあることで知られていますが、他に脳細胞と目の網膜の活性化にも顕著な働きがあります。

なんとすばらしい食べ物でしょうか。毎日魚を食べる人と食べない人の老人性痴呆症の死亡率比較をすると、70歳を境に大きな差が出てガンの死亡率も60歳を境に大きな開きが出るそうです。

釣果が芳しくない時は、漁港近くの魚屋さんから買い物をしてクーラーを満たして家路につきたいと思う今日この頃であります。

魚たちに 合掌



佐藤さん 阿部さん 石川さん

